

大会特別規程（第5回）

【試合前の事前準備、徹底事項】

1. メンバー交換・攻守決定

- ・メンバー用紙交換及び攻守決定は試合開始予定時刻の40分前とする。各チームの監督及び主将は、所定のメンバー交換用紙（複写式4枚）を持参し本部に提出のこと（※）。攻守決定はじゃんけんにて行う。

（※）大野球場=Bコート いちい信金=Aコート 一宮市営球場=バックネット裏本部

- ・試合球は大会側で準備する。（ナガセケンコー株式会社協賛によりケンコーボールM号を使用）

2. グラウンド内での装備品、ユニフォームの統一等

- ・捕手（ブルペン捕手含む）はマスク、レガース、ヘルメット、プロテクター、スロートガードを装備する。
- ・打者・走者・ベースコーチ・ネクストバッタースボックス内の次打者はヘルメットを必ず着用すること。また、準決勝、決勝の試合前シートノック中のボール渡しも同様とする。
- ・ベンチ内でユニフォームを着用する者は、ユニフォーム上下、帽子、アンダーシャツ、ストッキング、ベルト、スパイク等すべて同一のもので統一すること。*事前に実行委員会に到達した場合は許可する。
- ・監督・コーチのサングラス着用を禁止する。
- ・野手がサングラスを使用する可能性のある時は、試合前（メンバー交換時）に主催者・審判に申し出て許可を得た者のみ認める。レンズ部分が著しく反射するものの着用は認めない。また、帽子にサングラスを掛けることを禁止する。

3. ベンチの規程 リーグ戦はリーグ表の小番号のチームを1塁側とする。準決勝は、ABブロック1位を一塁側とする。決勝戦は、準決勝2試合目の勝者側と反対のベンチに1試合目の勝者が移動する事とする。

4. シートノック

- ・予選リーグではシートノックは行わない。ただし、各ベンチ前のファールゾーンでのノックは認める。

【準決勝、決勝のシートノックについて】

- ・後攻より行い7分以内とする。ただし、状況により短縮、省略することもある。
- ・第1試合は試合開始時間30分前から開始する。2試合目以降は前の試合が終了して10分後に開始する。
- ・参加登録選手全員で行うことができるが、ベンチ入りしない選手はシートノック終了後速やかにベンチから外れること。

5. ウォーミングアップについて

大野球場 — Cコート…直前に試合があるチームを優先に分け合って使用すること

いちい信金スポーツセンター — 外野奥ファールゾーン…B面は他の団体が使用するため不可

一宮市営球場 — 球場外…ただし、グラウンド外ではボールの使用、スイングは不可

※周囲の安全を確かめてウォーミングアップを行ってください。

6. 熱中症対策について（試合開始前と試合中、試合時間）

・【試合開始前】必ず、主催側で用意した（経口補水液50cc、タブレット）を両チームの選手全員、ベンチ入りする指導者、審判、運営スタッフが摂取したことを各試合の主審が確認した上でプレーボールとする。

・【試合中】各イニングが開始してから15分が経過した場合、全選手に3分間の休息、水分補給の時間を与える。ただし、この間も試合進行の時間計測は止めず、そのまま経過させることとする。同様にプレー再開後に再び15分が経過した場合、同様の処置を行う。

・【試合時間】35度を超え40度前後の気温（気象庁発表を参考）となった場合は、試合時間を80分時間経過時点で終了とする。*大会実行委員の指示に従う事

7. 監督またはコーチが投手のもとへ行く制限

- ・「監督またはコーチが投手のもとへ行く制限」とは、タイムをとるかボールデッド中にグラウンドに出て、

ファウルラインを越えて投手もしくは投手を含む野手が集まっている所で指示を与えることを示す。また、投手の方からファウルラインを越えて監督やコーチに指示を受けた場合や、伝令を使ったり捕手または他の野手に指示を与えて投手のもとへ行かせたりした場合も同様とする。これらはすべて審判員が判断する。

- ・監督またはコーチは同一投手のもとへ1イニングにつき1度行くことができる。
- ・監督またはコーチは同一投手のもとへ1イニングで2度行ったとみなされた場合は、当該投手は続投できない。
- ・同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできない。また、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることはできない。

8. 捕手または内野手が投手のもとへ行く制限

- ・捕手または内野手が投手のもとへ行ける回数は7イニングにつき3回までとする。
- ・捕手または内野手が投手のもとへ行き、その後監督またはコーチが行った場合は双方一度として数える。ただし投手交代の際はその回数に含まれない。

9. 臨時走者

- ・突発事故が起きた場合に、審判員が必要と認めた場合は臨時走者を許可する。臨時走者は投手→捕手を除く打順前位の者とする。

10. 選手交代の申し出 ・選手交代の申し出は監督が行う。

11. ルール上の疑義 ・試合中にルール上の疑義があった場合には、監督が審判員に直接質問することができる。

12. コーチズボックス ・監督またはコーチはコーチズボックスに立つことができる。ヘルメット着用のこと。

13. 予選リーグについて

- ・1試合1時間30分とする。(主審の判断で時間経過時には次回へ入らない。)
- ・予選リーグの順位決定は、勝ち点が高いチームを上位とする。

試合結果	勝ち点
勝ち	3点
引き分け	1点
負け	0点

- ・予選リーグは、上限の時間が経過しても勝敗がつかない場合は「引き分け」延長戦は行わない
 - ・勝ち点が並んだ場合、以下の手順で順位決定の抽選を行う。
- ①予選リーグ2日目に、1位通過チームの勝ち点が並ぶことが予測されます。

順位決定方式

- 1) 勝ち点が同率で並んだチームの直接対決で勝利したチームを1位とする。
- 2) 1) でも順位決定ができない場合は、下記内容の抽選にて順位決定をするものと定める。

②本部前に各チーム「合計9人」の代表者による抽選を行う

団長、監督、コーチ等指導者から	2名
スターティングメンバーから	4名
控え選手から	2名
保護者から	1名

※控え選手や保護者等の中から代表が出せない場合は、代理を立てても構いません。

- ③抽選を引く先攻後攻をキャプテンがじゃんけんで決める
- ④先行チーム、後攻チーム、先行チーム…と交互にくじをひく
- ⑤引いた9枚のくじを監督に渡し、監督は審判の前でくじを開封する
- ⑥当たりくじの多いチームを勝利とする

*事前に各チームに声掛けをしますその際は、最終試合が終わるまでグラウンド付近で待機して下さい。

14. 準決勝、決勝戦の決勝トーナメントについて

- ・上限の時間が経過しても勝敗が決まらない場合は、タイブレークを行う。
- ・タイブレークは「1アウト満塁、継続打順から」行う。
- ・熱中症対策の観点や、遠方からの参加チームを考慮し、タイブレークは1回のみとする。
- ・1回のタイブレークで決着がつかなかった場合は、抽選で勝敗を決定する。

【試合の同点時の抽選の仕方について】

責任者：主審判（一宮軟式野球連盟審判部）

●抽選の流れ

- ①両チームの最終出場選手9人は、ホームベース前に集合し、打順の並びで整列する。
- ②抽選を引く先攻後攻をキャプテンがじゃんけんで決める
- ③先行チーム、後攻チーム、先行チーム…と交互にくじをひく
- ④引いた9枚のくじを監督に渡し、監督は審判の前でくじを開封する
- ⑤当たりくじの多いチームを勝利とする

15. コールドゲーム

コールドゲームは以下の場合に適用する。

- ① 得点差（5回7点差）
- ② 暗黒や降雨・雷などの悪天候

16. 試合の中断

天候（降雨・雷・強風）などによって試合の進行を中断することがある。

17. サスペンデッドゲーム

試合途中で中断となった場合にはサスペンデッドゲーム（一時停止試合）とする。

【その他事項・心構え等】

- ・天候による試合実施の可否については各チームに本部より連絡する。
- ・メンバー交換用紙は、本部から配布されたものを使用する。
- ・攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチはすみやかに所定の位置につくこと。
- ・打者はみだりに打席を外さないこと。監督やコーチのサインは打席から見る事。
- ・無用のタイムは慎み、試合進行に協力すること。
- ・テーピングは投手の指先は禁止、その他については審判員の判断に従うこと。
- ・ファウルボールの処理は両チームが行う。
- ・本塁打を打った打者に握手やハイタッチ等を求めるためにベンチ外に出ることは禁止する。
- ・メガホンは監督、コーチのみ使用を認める。
- ・試合終了後は速やかにベンチを空けること。
- ・応援団は以下の禁止事項に留意すること。団長及び監督は、責任をもって事前に指導すること。
 - ① 紙ふぶき、紙テープ、個人名の入ったのぼりなどの使用
 - ② 野次など、相手に不利になるような言動
 - ③ 応援席のゴミの放置（チームで責任をもって処理する）
 - ④ 鳴り物（太鼓、ラッパ等）を使用した応援
- ・ユニフォームの着用が乱れた状態では競技に支障をきたし、怪我にもつながるので、着こなしの指導をする。
- ・試合間隔は30分間とするが、準備が整い次第、ゲームを開始する。
- ・次試合の先発バッテリーに限り、メンバー交換後もしくは試合開始より1時間経過後、ブルペンを使用する事ができる。